



攻防の末、強行成立

二〇二五年問題ってご存知ですか？あと十年たつと団塊の世帯が七五歳、六五歳以上が人口の三割。今の制度はもたないーと言われている問題。

これに対処する制度改革と称し、六月十八日、国会で「地域医療・介護推進法」が成立しました。野党の追及に、田村厚生労働大臣が何回も答弁撤回と謝罪に追い込まれる事態になりながら採決を強行しました（これで労

負担は重く
安心・安全
・
利用は遠のく

働者派遣法改悪は廃案）。

利用者に痛み強制

法の目的のひとつは介護保険の給付額の大幅な削減です。利用者や家族に大きな負担増と切捨てが襲いかかり、小さな事業所は倒産・閉鎖の危機に。介護労働者はますます過酷な労働条件に追い込まれ今でも人手不足の現場は崩壊です。

病院がなくなる

病状が悪化しても入院できない、回復してない

[介護保険制度の主な改悪内容]

◆**要支援者（今、160万人）を切捨て**、給付対象から外し市町村に移行（来年4月～段階的に）⇒やる、やらないも、サービス内容も市町村が勝手に決める。国・行政の狙いは半数をボランティア＝ただ働きでまかなうこと。こんな都合のいい話って、あり?! 安心できる安定した介護を担保する制度と責任を国が放棄するのだ。介護が必要な人が更に重度化するのは必至。ちなみにボランティア活用はナチスの手口です。

◆**自己負担を倍に**。年金280万円以上の利用者の負担を1割から2割に（来年8月～）。医療保険では負担が重くなるのは年収が383万円以上。これと比べてもあまりに低い。280万円の根拠を田村大臣は答えられなかった。預貯金のない人にとっては命にかかわる大幅値上げだ。

◆**「終の棲家」に要介護3の壁**。家で暮らせなくなった人が死ぬまで暮らせるはずの特別養護老人ホーム。入居できるのは「要介護3以上」とした（来年4月～）。52万人が入居を希望し待機中だが、要介護3以下をバツサリ切捨てるのか! 介護度だけで必要性ははかれない。施設も、労働者ももたない。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

のに早期退院、入院先を求めて患者と家族はヘトヘト―身近にこんな現実がありませんか。

国は、増大する医療費削減の柱のひとつにベッド数の削減を据えています。今、全国にあるベッド数は九〇万床。一〇年後には三〇万から四〇万床増やす必要があるという試算ですが、厚生労働省は逆に三〇万床を減らす方針。先進的で高度な急性期医療を担う立派な病院は手厚く育成し、貧困ビジネスまがいの、薬と点滴つけの「姥捨て山」のような病院は許容する、残りの中小病院は淘汰する、という中味です。

生きるも死ぬも

「自己責任」?!

名目は「在宅医療、地域医療の推進」。聞こえはいいが国の狙いは「病院をつぶして入院させない、施設に入れない、ボランティアを探し家で何とかせい、死ぬも生きるも『自己責任』」という世界ではないでしょうか。

アメとムチの権限で

国の医療政策は、診療報酬による誘導、行政の許認可権や指導権限、その他の施策を通じて実現する仕組みです。

今回、法律に都道府県の権限強化による「アメとムチ」が盛り込まれま

した。

①「都道府県が『地域医療構想』をつくり、構想に従わない医療機関に指示できる権限を都道府県に与える」②「改革」に協力する医療機関には補助金（消費税が財源）を配る基金を都道府県に創設する」という内容。

住民の実情や要求を把握し、反映しやすいのは身近な市町村。「赤字でも公的病院を守れ！」とあちこちで住民が闘ってききました。国は都道府県に権限と金をゆだねることとで、住民の要求をねじ伏せ、病院つぶし、ベッド削減を強行しようとしています。

岩盤は命の為の規制

六月に閣議決定された「新成長戦略」の三本のうちの一つが医療―混合診療の拡大です（混合診療とは保険診療と保険のきかない治療を一緒に行うこと）。TPPにも含まれています。「岩盤規制に穴あける」と安倍首相は言いますが「岩盤」とは何か？

そもそも医療は利潤追求を目的とせず、生存権を守る公共性の高い事業、医療を受ける権利は平等―これが原則。だから国民皆保険制度、誰でも何処でも安く国の基準に適合した診療を受けられる体制が作られてきました。

この命を守る規制を「岩盤」と言って攻撃する狙いは、医療をグローバル企業の利潤追求のための手段にしたいからです。

医療ビジネスの横行

混合診療が拡大すると、金さえ出せば高度先進医療や高い輸入薬もふつうの病院で受けられる、その中に国は責任をもたない、他方で健康保険は安価で劣悪な診療・薬しか対象としないという事態が進行します。

保険医療を金で買う医療に変質させ、医療ビジネス、製薬・医療機器資本、保険会社など等のグローバル企業のもうけの

為に医療市場を喰い物にさせていく、その突破口が混合診療の拡大です。

橋下の特区はゴメン

橋下・維新は「大阪を医療特区に」と名乗りをあげ、海外から大金持を医療ツアーに呼び込み力シノで大枚をはたく、そんな事を構想しています。医療・介護・生活保護も切られた高齢者が次々と野垂れ死に—こんな現実が迫っている中で！

許せません。闘おう！

【南労会支部】

2014年非核平和行進

【日時】 7月17日 (木)

前段集会開始 14:00~

デモ出発 14:30~

【集合】 西区新町西公園

(西区役所西隣)

(下写真) 昨年の平和行進



第14回 大阪大空襲の体験を語る集い

【日時】 8月10日 (日) 午後一時~

【場所】 田中機械ホール

【主催】 NPOみなと

解釈改憲断固反対!

戦争や空襲体験がある方は是非体験をお聞かせください。歴史を学び、戦争の危機の再認識を!

この国は再び戦争を始めようとしている...